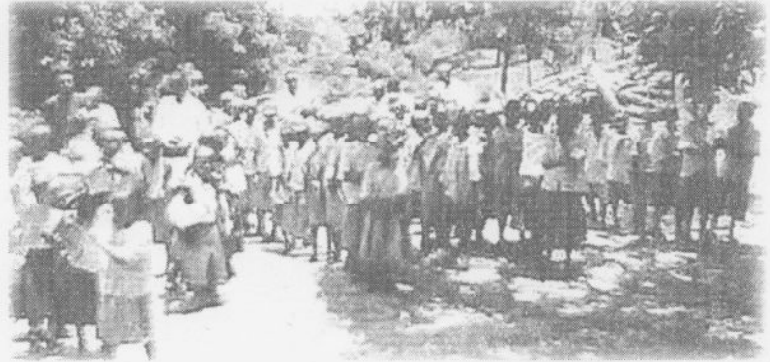


ウムチョ ムウイーザ通信 No. 6

ルワンダ語で「良い文化学園」の意味を表します。



9月に大統領選挙があったため、いつもなら9月スタートの新学期が、ルワンダ政府の指導で、今年は1ヶ月遅れの10月6日に始業式を迎えました。



学園菜園で収穫した野菜とホタージュ(塩味)の給食



全校生徒278名が元気に顔をそろえました。

家畜飼育による自立支援事業も順調で、ヤギ、ウサギ、鶏を飼い始め、それらの糞を肥料にした畑では、キャベツ、じゃが芋、玉ねぎなどが収穫できるようになり、少しずつですが、子供達に食べさせられるようになりました。

先生方の人数も増え、運営費も多くなりましたが、レンガを手作りしたり、野菜や卵を売ったりして、学校の収入を上げる努力もしています。

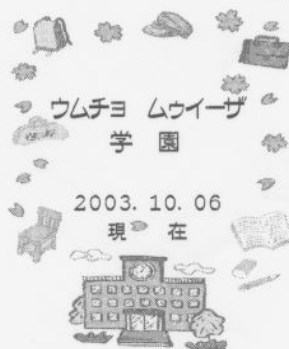
まだしばらくは、日本の皆さんからの応援を必要としている私達ですが、早く自立できるように、子供達共々、頑張っていきます。

このたび、ルワンダ政府より学校として正式に認められ、『学校ナンバー』をもらうことができました。このナンバーがあると、本校の卒業生は、国立や私立の上級学校を受験することができるようになります。

| | | | | |
|------|-----|-----|-----|------|
| 幼稚園 | 年少組 | 年中組 | 年長組 | 幼稚園計 |
| | 41 | 45 | 48 | 134 |
| 小学校 | 1年 | 2年 | 3年 | 小学校計 |
| | 55 | 57 | 32 | 144 |
| 学園合計 | | | | 278 |



| | |
|--------|----|
| 校長先生 | 1 |
| 先生 | 6 |
| アシスタント | 4 |
| 事務 | 2 |
| 運転手 | 1 |
| 警備 | 1 |
| 清掃 | 1 |
| 合計 | 16 |



ヤギ&ウサギ
(家畜飼育による自立支援事業)



Peace Train

～届け歌声“ルワンダの空へ”～



感動と興奮につつまれて…

副理事長 飯高 千恵子

2003年10月13日、1年近く準備を進めて来たチャリティーコンサート、
「Peace Train
～届け歌声“ルワンダの空へ”～
が、福島県文化センターで開催されました。



思い返せば、昨年9月、仙台のコンサート会場の楽屋で、こうせつさんとお会いした時、「何か大きな企画を立てれば、僕が最後にクリーンヒットを打ちに行きあげてから、頑張ってください。」と言っていたから、不安と期待が入り混じった複雑な心境で準備を進めました。こうせつさんがコンサートに来てくださる、それだけでもすごい事なのに、



ねえ、イルカさんや、小室等さん、高田渡さんも一緒にいい？

と言う嵐マネージャーからの電話には、間髪いれず、

バリバリOKで～す！



と叫んでいました。

嵐さん、イベントーとしてお手伝いしてくださったノースロードの渡部さん、TUFの皆さん、何度も会議をしながら、準備を進めた日々、ルイズとチケットを売り歩いた日々、あつという間に時は過ぎていきました。やれることはやった後は天命を待つだけ、そんな思いで当日を迎えました。

開演時間が迫ったホールには、お客様が溢れ、



本当に多くの皆さんに支えられてここまで会は育ってきたのだなぁと感謝の気持ちにつつまれました。

暖かい空気につつまれたコンサートでした。4人のアーティストの皆さんは、声を揃えて、

いいお客さんだったね。
いいコンサートだったね。

と仰ってください、会場のお客さんも本当に満足してください、大成功でした。

こうせつさんの事務所、『ベリーファーム』から、二百十数万円のご寄付をいただくことになりました。

今、「千の丘の国」と言われるルワンダの、デコボコ道を元気に走り回ってくれる四輪駆動のバスを探しています。見つかれば、皆さんの真心がいつまでもプレゼントとして、ルワンダへ送ります。チケットの売り上げが少々目標に達しなかった分、どうしようと心配した送料も、外務省のNGO無償資金協力から助成される見込みが立ちました。

ご協力いただいた皆さん、ありがとうございます。

4人のアーティストの皆さん、大きな感動をありがとうございました。



Peace Train

～届け歌声“ルワンダの空へ”～

コンサート当日、たくさんのスタッフが、大活躍してくれました。

いままでの数々のイベントを体験する中で、それぞれが確実に活躍していることを実感しました。

お互いに忙しい日常をかかえている中で、ほとんど打ち合わせもなかったのですが、展示物担当、販売担当、急に、当日券売り場をまかされた人…ほとんどアイコンタクトと、阿吽の呼吸であれだけのお客様に対応できたことは、すごいチームワークだなあと、嬉しく思いました。



販売スタッフ



募金スタッフ

これからもたくさんのイベントが開催されていくと思います。

よろしく願いいたします。

コンサート終了後に伺った、4人の皆さんの感想です。(「TUFニュースの森」より)

福島の皆様

ありがとうございました

イルカさん

今日は、私が幸せをいっぱいもらった気がしました。世界の子供達がもっともつと明るい笑顔でいてほしいという願いが強くなりました。

高田渡さん

こんな素晴らしい事に参加できて、良かったと思っています。

南こうせつさん

福島のお客さんがすごく温かくて、みんなが共に教育を受けられない国に、手を差し伸べようと言う心で、ひとつになつている。そんな温かいものが感じられる良い夜でした。

小室等さん

これでバス1台が送れると思うと、なんかこう、ワクワクしますね。

Peace Train

～届け歌声“ルワンダの空へ”～



素敵なコンサート

あの時の感激、感動は、あの場所にいた人にしか
味わえないものでした。

何十年ぶりかのコンサート、楽しかったで～す！

ステキな時間をありがとう

私にとって、忘れていた時を、今日は十分に思い
出し、安らぎを感じました。

この頃は、何かと忙しくしており、こんな風に過
ごす時間は考えられずに忘れていました。

リフレッシュできたようです。

会場で映し出されたルワンダの 様子がとてもわかりやすかった

学校の雰囲気や伝わり、「ルワンダの教育を考
える会」の目的がわかって良かった！

説明を下されたルイズさんのお話も、ご自
身の体験と、今、現実に生きている子どもたちの
ことなので、とても身近に感じられました。

共感されて、演奏に優しさや愛がこもっている、
4人のアーティストのこうせつさん、イルカさん、
小室さん、高田さんとてもステキでした。



ご協力ありがとうございました

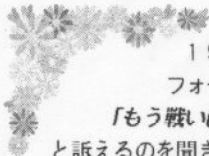
ございました。



予定を越えた3時間のコンサートは、あっという間に過ぎていきました。

そして、私たちの心にかげがえのない思い出を残してくれました。

早く見つかれ四輪駆動のバス！



1995年に北京で催された、世界女性会議のNGO
フォーラム会場で、ルワンダ代表が、

「もう戦いは沢山、平和で安全な生活が欲しい。」

と訴えるのを聞きました。彼女は、50%以上の女性が夫と死別
または生き別れとなり、生活が非常に困難なこと、生き延びるために
移動する過程で森の木が失われ、深刻な環境破壊が生じていること、
女性達は様々なグループを作って助け合っていること等を切々と語り
ました。

北京から帰り、ルワンダが国際社会に復帰したことや女性達が生活再建に苦闘していること
等を是非多くの人に知って欲しいと思い、『グループ・フォー』（Friends of Rwanda）と
いう小さなグループを立ち上げました。埼玉県が1996年4月に開催した「世界女性みらい
会議」のワークショップに参加を決め、マリー・ルイズ（ルイズ）さんに講師として来て頂きま
した。それ以来、「ルワンダを知って平和を考えよう」がテーマの私たちと、「平和のためには
教育が不可欠」とするルイズさんとのお付き合いが続いています。ルイズさんには、講演会や
ワークショップ、久喜市民まつり等で大活躍して頂きました。

ルイズさんとのご縁で、今年から、「ルワンダの教育を考える会」の理事を仰せつかりました。
遠い埼玉に居てあまり力にもなりません、これからも平和とルワンダの教育のために、
息の長い活動を続けていきたいと思っております。

（倉持 睦子）



倉持睦子さん、ルイズさん、斎藤照子さん

◆新任理事紹介◆



ルイズさんの講演活動に同行して

瀬尾 綾子

去る6月7日、会津若松市国際交流協会総会に招かれ、ルイズさんが、記念講演をおこなうこと
になり、二人で出かけました。

そういえば、昨年もちょうど今頃、三春町でルワンダの料理講習と講演があり、二人で出かけた時
のこと。とんでもないハプニングを起こしてしまいました。



その頃、ルイズさんは、自動車学校に通い、運転免許取得目前だ
だったので、模範運転をしなければ…と緊張したせい、道をまちが
えて、こともあろうに、高速道を30メートルもバックすること
なりました。後方の安全を確認して、無事成功。今思い出して
も、冷汗ものです。

今回の会津行きは、余裕をもって安全運転をモットーに出発。土
湯峠までは生憎の悪天候だったが、トンネルを抜けるとそこは雪国
ならず、青葉若葉輝く別世界。思わず二人で、「ワー！！」と歓
声をあげ、その先は、女二人づれ、あれやこれやと話がはずみ、楽
しい道行きとなりました。

会津では、皆さん、好意的に迎えてくださり、和やかに歓談するうちに、ルイズさんの講演の時刻
となりました。残念ながら私はルワンダの子ども達が作った民芸品販売の準備に追われ、すべては聞
くことが出来ませんでした。落ち着いた口調で、説得力ある話、皆さんうなずきながら聞き入っ
ておられました。その後の立食パーティーでは、講演が大好評だったことと、参集された方々の日頃の
活動についての話で盛りあがりました。

民芸品の販売には、協会のスタッフも手伝ってくださり、かなりの売り上げがあったことも嬉しい
ことでした。

多忙なルイズさんですが、いつも変わらず、おう揚な態度で、まわりの人を和ませてくれ、楽しみ
ながら、一日を終えることができました。

今年も、12月1日より1月30日まで、
ルワンダフルクリスマスキャンペーン
 を展開いたします。
 粉雪舞うこの季節、皆様の真心を、ほんの少しルワンダ
 の子供達に分けて下さい。
 直接、ご寄付としてご送金くださることも嬉しいです。
 また、会では、かわいい募金箱も用意しました。募金箱
 を置いてくださるお店や事業所をご紹介いただくことも
 お願いいたします。
 昨年からはじめたこのキャンペーンですが、「この季節に
 になると、この募金箱をみかけるね!」と言っただけ
 のほど社会に定着していけば良いなあと思っています。

ご寄付 振込先
 02290-0-97126
 NPO法人 ルワンダの教育を考える会

通信欄に『ルワンダフルキャンペーン』と
 ご記入下さい。

ご理解とご支援に心よりお礼申し上げます。
 7月より11月の主な行事報告をします。

- ◇ **出 展** ◇ 久喜市市民まつり
 (6ヶ所) いわき地球市民フェスティバル など
 ※会の広報、民芸品販売に皆様のご尽力を頂きました。※
 ※心より感謝申し上げます。※

福大文化祭ユニセフコーナー

- ◇ **ルイズさん講演活動** ◇ 聖心女子大同窓会グループ「ヘルプライン」
 (23講演) 千葉 島村トータルケアクリニック「生き生き塾」
 神奈川県元石川高校 など
 ※講演に携わられた皆様、本当に有り難うございました。※



◇ 会費は下記へお願いします ◇
正会員 5,000円
賛助会員 10,000円

郵便振替口座 : 02290-0-97126
 加入者名 : NPO法人 ルワンダの教育を考える会

編集後記

早いもので、もう、十二月。今年も間もなく終わろうとしています。私達自身が、年齢を重ねるように、「ルワンダの教育を考える会」も人々の輪を通じて、成長していると思えます。来年も、様々なお知らせをお届けしますので、どうぞよろしくお祈り致します。

ルワンダの教育を考える会

理事長 高橋 啓子
 副理事長 カンベンガ・マリルイス

〒960-0466 福島県伊達郡伊達町字根岸5-11
 TEL/FAX : 024-583-5345
 e-mail : umuco@smail.plala.or.jp

